

2021年6月野菜概況

全国的に気温が高く、北・東・西日本では、降水量が少なく日照時間が多かった。

九州・四国では5月中旬に梅雨入りしていたが、関東は6月14日の入梅で平年より1週間ほど遅かった。6月中の天候は大きくは崩れず、各地で断続的に雨が降る程度だった。この適度な降雨と気温により、中旬から多品目で順調出荷となり荷動き鈍化。月初こそ野菜全体単価は高水準だったが中旬からの価格下落が顕著であった。6月の野菜総入荷量は116,676t(前年比93%)で平年よりやや少なく、価格261円(98%)は平年よりわずかに高い。金額は30,499百万円(92%)で平年をやや下回った。

だいこんは月を通して荷動きは鈍めだったが、上旬は千葉・茨城産が終盤となり減少し、青森産もトンネル作と露地作の端境になり全体量少なく相場上昇。中旬は青森産の露地作が増量して相場反落。総入荷量は平年より2割少なく、価格108円(105%)は平年より1割高。**にんじん**は千葉・埼玉産が終盤となるも月末まで順調な出荷が続き減少せず、後続の北海道・青森産が増量して供給過多となり相場は下落した。総入荷量は平年よりやや少なく、価格124円(71%)は平年よりやや安い。

はくさいは長野産が4月の干ばつの影響で高冷地物が出遅れ、上旬に不足感が生じて相場上昇。中旬からは増量し、群馬産とともに数量充分となり相場は下落した。総入荷量は平年よりやや少なく、価格72円(104%)は平年よりやや高い。**キャベツ**は上旬から千葉産が順調入荷し群馬産も出始める。中旬は千葉・茨城産が最盛期過ぎて減少し引合い強まるも、下旬は群馬を中心に岩手・長野産も増量して全体量多く、引合いは弱まった。総入荷量は平年よりわずかに少なく、価格86円(96%)は平年よりわずかに高い。**ほうれんそう**は群馬・茨城・栃木産が安定的に入荷。数量潤沢で荷動きは鈍めで推移した。総入荷量は平年より1割近く多く、価格428円(85%)は平年の1割安。**ねぎ**は茨城産を中心に生育順調で潤沢な出回りとなり荷動きは鈍かった。総入荷量は平年よりやや少なく、価格368円(88%)は平年より1割近く安。**レタス**は6月上旬は長野高冷地が低温による生育遅れで端境となり高値となったが、中旬から一気に増量して相場が急落した。総入荷量は平年よりやや少なく、価格121円(126%)は平年より1割以上高い。

きゅうりは前月下旬に関東産が減少期となり相場上昇したが、6月に入ると東北産が増量し、高値反動もあって引合い弱まり相場下落となった。埼玉や福島産を中心に全体量は潤沢で、月を通して荷動きは鈍かった。総入荷量は平年よりわずかに多く、価格266円(94%)は平年並み。**なす類**は高知産が前月までの天候不順により数量減や品質低下が起き、群馬・栃木等、関東産への移行が進んだ。月前半は不足感から引合い強まるも、後半は関東産が潤沢に出回り荷動きは鈍かった。総入荷量は平年よりやや少なく、価格387円(100%)は平年並み。**トマト**は熊本産が中旬には切り上がる中、後続の北海道・東北産が始まるも増量は緩やか。全体量はやや少なめで相場は堅調推移。総入荷量は平年より1割以上少なく、価格300円(110%)は平年よりやや高。**ピーマン**は上旬は西南暖地産が切り上がる中で関西方面からの引合い強く、特売需要もあり相場を支えたが、中旬からは高値反動と茨城産の潤沢入荷により荷動き鈍化して相場は下落した。総入荷量は平年よりやや少なく、価格505円(103%)は平年の3割高。

ばれいしょ類は上旬には長崎・静岡産が出荷ピークに。中旬からは長崎産が終盤に向け減少、静岡産は前進推移だったため日量を絞りつつも順調な出荷。気温上昇により需要低く荷動きは鈍かった。総入荷量は平年よりわずかに少なく、価格178円(63%)は平年の1割高。**たまねぎ**は佐賀・兵庫産の出回りで、前月までは長雨の影響から品質低下が発生し

ていたが、中晩生の品種に切り替わり品質が向上。大玉傾向なため、少ない小玉の引合いは強かった。総入荷量は平年より1割少なく、価格106円(112%)は平年より1割高。

【輸入野菜】かぼちゃは前年にメキシコが雹害や大雨による不作で少なかったことから前年比で大幅増。ばれいしょは前年に米国産が少なかったことから前年比で大幅増。ごぼうは2020年秋作が作柄良好だったため前年より大幅増。しょうがは前年にコロナ禍で外食需要が減退したことや中国・タイ産が天候不順で減産となっていたため、前年比で大幅増。一方、キャベツはコロナ禍で外食需要が減退する中で国産が安値となったことに加え、コンテナ不足や海運コストの上昇もあり中国産を中心に前年比大幅減。ジャンボピーマンは前年に韓国産が生産回復で増加していたことから、前年比では大幅減。ねぎもコロナ禍で港湾作業が停滞したことや中国産の作付減により前年比大幅減。